

動物実験に関する検証結果報告書

岡山大学

動物実験に関する外部検証事業

(公益社団法人日本実験動物学会)

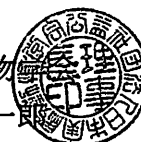
2023年3月

2023 年 3 月 10 日

岡山大学
学長 槇野博史 殿

貴機関における動物実験の実施体制に関して、提出された自己点検・評価報告書に対する検証結果を通知します。

公益社団法人日本実験動物
理事長 三好一郎



対象機関：岡山大学
申請年月日：2022 年 7 月 22 日
訪問調査年月日：2022 年 11 月 1 日
調査員：小野悦郎、北嶋修司、今野兼次郎、三好一郎

検証の総評

岡山大学は 10 学部、8 研究科のほか、4 研究所、大学病院、附属学校園及び全学センター等を擁する総合大学である。医学部及び歯学部がある鹿田キャンパス並びに薬学部、農学部等がある津島キャンパスの 7 部局では、げっ歯類、霊長類、家禽、大型家畜に至る多様な動物種を対象にして幅広い研究分野で動物実験が実施されている。「岡山大学動物実験規則」に則り、動物実験計画の立案にはじまり、動物実験計画書の審査、承認、結果報告、教育訓練、自己点検・評価、情報公開等が行われている。これらの動物実験実施体制は、文部科学省の「研究機関等における動物実験等の実施に関する基本指針（以下「基本指針」という。）」及び環境省の「実験動物の飼養及び保管並びに苦痛の軽減に関する基準（以下「飼養保管基準」という。）」に対応しており、適正に運用されている。

動物実験委員会は、岡山大学に設置されている実験動物飼養保管施設 6 か所、両生類や魚類用の飼養保管施設 5 か所、一時保管専用室 1 か所及び動物実験室 112 か所のすべての飼養保管施設並びに動物実験室について、岡山大学の基準に基づき自ら調査を行い、その調査結果に基づいて、飼養保管施設の管理者及び動物実験室の責任者が自主的に施設等の改善を実施している。また、年間約 1,000 件の動物実験計画書が動物実験委員会で審査され、学長が承認している。以上のように、多くの部局で飼養保管施設及び動物実験施設が多数設置され、相当数の動物実験計画書の申

請があるにもかかわらず、一元化された動物実験実施体制を構築し運用している点は評価できる。教育訓練は通年で行われており、外国人留学生等を対象に英語でも実施され、受講者も毎年約400名を数えるなど、総合大学にあって全学で一元化された活動が行われている点も高く評価できる。なお、動物実験委員会と自然生命科学支援センター動物資源部門のそれぞれの役割や関係について、一部に不明確な点があることから、事務局の協力の下、さらに安定した管理運営体制を構築することを期待する。今後とも、総合大学の範となるような動物実験実施体制の構築に努められたい。

検証結果

I. 規程及び体制等の整備状況

1. 機関内規程

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程を定めている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程を定めていない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「動物実験実施規則」及び「岡山大学動物実験委員会要項」が定められ、機関の長（学長）の責務を明記したうえで、動物実験委員会を置き、動物実験計画、実施結果や施設等及び実験動物の飼養保管状況、教育訓練等について審議、調査することとしている。これらは「基本指針」に則した内容である。従って、機関内規程について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する機関内規程が定められている。 <input type="checkbox"/> 機関内規程は定められているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 機関内規程が定められていない。
4) 改善に向けた意見
特になし。

2. 動物実験委員会

1) 機関による自己点検・評価結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会を設置している。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置しているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会を設置していない。
2) 自己点検・評価の妥当性
「岡山大学動物実験規則」「岡山大学動物実験委員会要項」「岡山大学動物実験委員会における委員の構成に関する申し合わせ」及び「岡山大学における飼養保管施設および動物実験室の設置審査に関する細則」の中で基本指針に則り委員会の役割や委員構成等が定められており、基本指針が定める3要件の委員を含む12名の委員による委員会が動物実験計画書の審査、動物実験の実施状況及び結果の把握、実験動物飼養保管施設並びに動物実験室の調査、教育訓練等を実施する体制がとられている。従って、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果
<input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合する動物実験委員会が置かれている。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されているが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 動物実験委員会は設置されていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

3. 動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制を定めている。
- 動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「岡山大学動物実験規則」において、動物実験計画の立案、審査、承認、結果報告等の手続きが規定され、基本指針に則した動物実験の実施体制が整備されている。また、これらの手続きに必要な各種様式が定められている。従って、動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 基本指針に適合し、動物実験の実施体制が定められている。
- 動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 動物実験の実施体制が定められていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

4. 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針に適合し、安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めている。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めているが、一部に改善すべき点がある。
- 安全管理に注意を要する動物実験の実施体制を定めていない。
- 該当する動物実験を行っていないので、実施体制を定めていない。

2) 自己点検・評価の妥当性

「岡山大学組換えDNA 実験安全管理規程」「岡山大学研究用病原体等安全管理規則」「岡山大学大学院医歯薬学総合研究科感染症発生予防規程」「岡山大学放射線障害の防止に関する管理規則」「岡山大学化学物質管理規程」「岡山大学自然生命科学研究支援センター動物資源部門津島南施設における家畜伝染病予防マニュアル」等、安全管理に注意を要する動物実験に関連する規程等が定められ、実施体制が整備されている。また、向精神薬研究施設の許可を受けている。従って、安全管理を要する動物実験の実施体制について、自己点検・評価の結果は妥当である。

3) 検証の結果

- 該当する動物実験の実施体制が定められている。
- 該当する動物実験の実施体制が定められているが、一部に改善すべき点がある。
- 該当する動物実験の実施体制が定められていない。

該当する動物実験は、行われていない。

4) 改善に向けた意見

特になし。

5. 実験動物の飼養保管の体制

1) 機関による自己点検・評価結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

2) 自己点検・評価の妥当性

「岡山大学動物実験規則」及び「岡山大学における飼養保管施設及び動物実験室の設置審査に関する細則」等が定められ、その内容は「飼養保管基準」に則している。飼養保管施設には管理者及び実験動物管理者が置かれ、飼養保管マニュアル及び緊急時対応計画が整備されているが、一部の施設では飼養保管手順書やマニュアル等が確認できなかった。従って、実験動物の飼養保管の体制について「基本指針や飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。」との自己点検・評価の結果であるが、「概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。」とする。

3) 検証の結果

- 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正な飼養保管の体制である。
- 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。
- 多くの改善すべき問題がある。

4) 改善に向けた意見

飼養保管手順書及び緊急時対応計画が整備されていない一部の飼養保管施設においては、早急に整備されたい。

6. その他（動物実験の実施体制において、特記すべき取り組み及びその点検・評価結果）

岡山大学は、平成25年度に「動物実験の相互検証プログラム」に基づく検証を受けており、今回、2回目の外部検証である。前回の外部検証時に指摘された「変更等に関する手続きのチェック体制」は改善されている。これまでも、岡山大学特有の事情を考慮したうえで実効性ある一元化した管理体制を構築してきた。さらに、動物実験委員会が多くの申し合わせ等を定めて手続きの円滑な運用を図り、最新情報を収集し教育訓練の教材に反映させる等、実験動物の福祉向上のために改善を重ねてきた点は、高く評価できる。

II. 実施状況

1. 動物実験委員会の活動状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 「動物実験実施規則」並びに「岡山大学動物実験委員会要項」に則して、動物実験委員会が動物実験計画、実施結果、実験動物の飼養保管状況、教育訓練、自己点検・評価等について審議し、議事録が作成、保管されている。また、動物実験委員会活動の円滑な運用のために申し合わせ等を定め、さらに最新情報を収集し教育訓練の教材に反映させる等、積極的に活動している。従って、動物実験委員会について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針に適合し、適正に機能している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

2. 動物実験の実施状況

1) 機関による自己点検・評価結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験を実施している。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
2) 自己点検・評価の妥当性 2021年度には962件の動物実験計画が審査、承認された後に適正に実施され、経過報告書、終了・中止報告書、動物実験の自己点検票が提出されている。従って、動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。
3) 検証の結果 ■ 基本指針に適合し、適正に動物実験が実施されている。 □ 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 □ 多くの改善すべき問題がある。
4) 改善に向けた意見 特になし。

3. 安全管理に注意を要する動物実験の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針に適合し、当該実験を適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験を行っていない。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>遺伝子組換え生物を使用する動物実験、感染動物実験、放射線や発がん物質等を使用する動物実験等、安全管理に注意を要する動物実験が安全かつ適正に実施されており事故等の発生もなかった。また、関連する委員会の間で情報共有を図っている。従って、安全管理に注意を要する動物実験の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 該当する動物実験が適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。 <input type="checkbox"/> 該当する動物実験は行われていない。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

4. 実験動物の飼養保管状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>げっ歯類、ウサギ、霊長類、家畜、家禽等が飼養保管マニュアルに従い適正に動物実験委員会による飼養保管施設及び動物実験室の定期的な調査及び飼養保管状況の自己点検票の提出により、各飼養保管施設の現状が正確に把握されている。げっ歯類の飼養保管施設では、微生物モニタリングが実施されている。従って、実験動物の飼養保管状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

5. 施設等の維持管理の状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に維持管理している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>飼養保管施設及び動物実験室に対して、隔年で、動物実験委員会による査察を行い、施設等の維持管理状況を確認している。各施設は整理整頓や関係者以外の立ち入り制限等が適切に実施されている。環境条件の記録保存や圧力容器等の法定点検も実施されている。また、補修等が必要な施設においては、計画的な改修等が行われている。従って、施設等の維持管理の状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>特になし。</p>

6. 教育訓練の実施状況

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>動物実験実施者、飼養者等の教育訓練を実施し、その内容は基本指針及び飼養保管基準の内容に沿ったものである。また、外国人研究者や留学生の受講にも配慮している。2020年度からはeラーニングにより実施し、理解度を確認するテストを実施している。従って、教育訓練の実施状況について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"> <input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。 <input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。 <input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>実験動物管理者の教育訓練については、日本実験動物学会が主催する実験動物管理者等研修会等の受講を検討されることを推奨する。</p>

7. 自己点検・評価、情報公開

<p>1) 機関による自己点検・評価結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施している。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>2) 自己点検・評価の妥当性</p> <p>「動物実験の自己点検票」「実験動物飼養保管状況の自己点検票」等の資料をもとに、全学の動物実験委員会で自己点検・評価を実施している。また、大学ホームページで、情報公開が適正に実施されている。従って、自己点検・評価、情報公開について、自己点検・評価の結果は妥当である。</p>
<p>3) 検証の結果</p> <ul style="list-style-type: none"><input checked="" type="checkbox"/> 基本指針と飼養保管基準に適合し、適正に実施されている。<input type="checkbox"/> 概ね良好であるが、一部に改善すべき点がある。<input type="checkbox"/> 多くの改善すべき問題がある。
<p>4) 改善に向けた意見</p> <p>動物実験委員会のホームページは大変充実しており高く評価できるが、大学ホームページからのアクセスが容易になるよう改善することを推奨する。また、機関内規程の最新版へのアップデートを速やかに実施されたい。</p>

8. その他

(動物実験の実施状況において、機関特有の点検・評価事項及びその結果)

<p>実験動物管理者の状況把握や指導力・管理運営能力が極めて高いことから、複数の飼養保管施設の利用から動物実験委員会の機能まで、厳格かつ柔軟な対応がなされており、哺乳類、鳥類、爬虫類以外の動物を使用する動物実験に関しても、「岡山大学動物実験規則の適応対象外の実験動物種を用いた動物実験計画の審査についての申し合わせ」を定めて、実験計画の届出を義務付けているなど、岡山大学特有の事情を考慮したうえで実効性ある一元化した動物実験実施体制の整備を推進している点は高く評価できる。e-ラーニングや理解度確認のためのテストの導入など工夫を凝らした教育訓練や充実した内容の動物実験委員会のホームページの作成などの研究者に対するサポート体制の構築も高く評価できる。今後とも、事務局や学内関係部局の共通理解を得ながら一層充実した動物実験実施にかかる体制づくりが行われることを期待したい。</p>
